

母校で夢だった英語教師として 働ける幸せ。充実した日々



信学会から受け継いだ教育を 今度は私が伝えていきたい

幼稚園は小諸市のしらかば幼稚園、高校は佐久長聖高等学校と、私は信学会の中で育ち、その中からいろいろなことを教えてもらいながら、本当に良く面倒を見てくれる教育を受けてきました。ですから、教師になった今は、生徒にも、自分のときと同じように面倒を見てあげたいという気持ちでいっぱいです。そして、できることなら母校で教えたいと思っていましたので、夢が叶って佐久長聖高等学校の教壇に立ったときは感激しました。

私が英語を好きになったのは信学会の幼稚園活動の一環として行っていた英会話がきっかけ。先生が、当時好きだったセサミスト리트の人形を使って腹話術のように英語で会話するのを見て、「英語ならエルモちゃんと話せる。楽しい」と思ったのが英語好きの始まり。それ以来、ずっと英会話を続け、母が教師だった影響も受け、おかげさまで英語教師になることができました。

教育は愛と情熱。 みんなで生徒を応援する風土

当校の魅力は、なによりも生徒のことを考え、生徒の希

望をみんなで叶えていこうという熱意があるところ。担任の先生だけでなく何人もの先生が全員一丸となって支えてくれます。生徒にとってはうるさいくらいに。そして情熱は必ず生徒たちに伝わります。こちらが一生懸命に愛情を持って接していれば、努力で応えてくれます。「やればできる」ということを私は生徒から教えてもらいました。

卒業式の答辞で卒業生の代表が「楽な道と苦しい道があったら、苦しい道を選びなさい」と読むのを聞き、わかってきていたのだと職員一同、感動しました。

大切にしているのは、同じ教材でもクラスのレベルに合わせて授業内容を変えている指導方法。一人ひとりがどこまで理解しているのかに合わせて、少し背伸びをすれば手が届くような指導をするように心がけています。

また、当校は生徒寮に教師と一緒に住んで食事をし、学習会・生活指導を行うのですが、実は私は寮に暮らして5年目。生徒とのコミュニケーションが楽しいですよ。

皆さん、学生時代はアルバイトやボランティア、留学などいろいろなことを体験してください。その経験は、人として厚みのある教師になるために大切なことです。そして夢があれば貫いてください。Dreams Come True!